

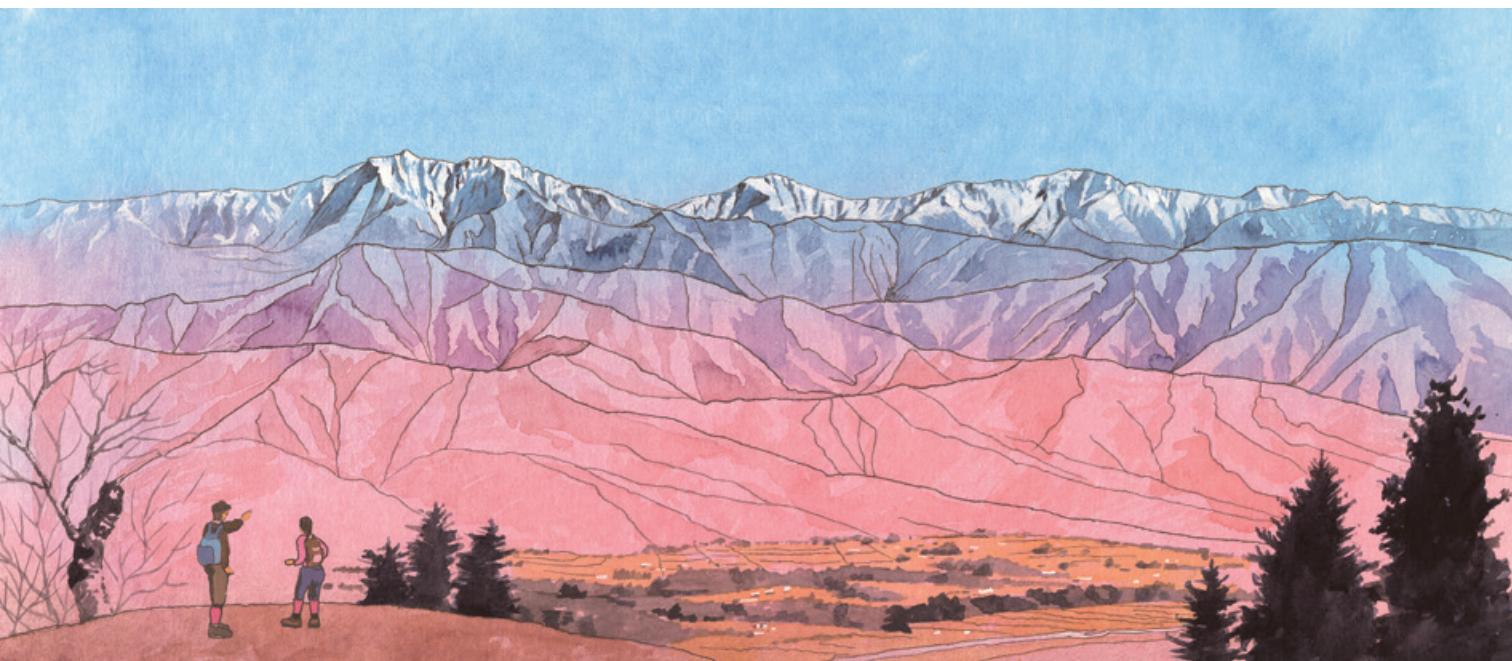


# 第92期 中間事業報告書

2019年4月1日から2019年9月30日まで

## KOA株式会社

証券コード：6999



# KOAからのメッセージ

私たちは、「循環・有限・調和・豊かさ」を  
企業経営の価値観に置いています。

## 創業のビジョン

「農工一体」と「伊那谷に太陽を」

KOAは、かつて農村というコミュニティが崩壊していく中で、ひとりの青年が農村の生活基盤づくりと安定した暮らしをこの地で実現しようと興した会社です。以来、創業者の「伊那谷に太陽を」という夢をかなえるために、「農工一体」というビジョンをめざし、経営が実践されてきました。お百姓がお百姓として暮らしていける環境をつくる、それが創業当時の時代の声でした。

## 企業ミッション

KOAを支える「5つの主体」との信頼関係構築

そうした先人の意志を引き継ぎ、また今の時代の声に耳を傾けたとき、KOAは、株主様、お客様・お取引先様、地域社会、社員・家族、地球との信頼関係の構築に努めることを企業のミッションといたしました。KOAの経営は株主様をはじめとして、皆様とのお縁に恵まれ、お力添えをいただいで成り立っています。KOAは皆様とお近づきになれたことに感謝し、お付き合いの中で学ばせていただきながら、これらすべての主体にとっての企業価値を高めるため、企業活動に取り組んでいます。

## 企業経営の価値観

「循環・有限・調和・豊かさ」

企業という存在が、過去にないほど大きな影響力を全世界的に、そして地球規模でもつに至った現在、的確な時代認識の上立った経営・企業活動が求められていると私たちは考えます。20世紀は人口爆発に代表されるような「拡大・無限・征服・利便性」といった人類本位のコンセプトの時代であり、そうしたことのために人類のみならず地球上のあらゆる存在が存続の危機を迎えているのではないのでしょうか。そんな時代の切なる声に対して、私たちは「有限」の考えに立ち、人類を生かしてくれている地球環境とそこに生を受けたすべての生きとし生けるものとの調和を図り、拡大から循環、利便性から調和の中での豊かさを求めるべきではないかと考えます。KOAは企業経営の価値観を「循環・有限・調和・豊かさ」に置き、「地球あっての人類、人あっての経営」という空間（場）を、企業活動の中でできる限り設ける努力をしています。さまざまな人とのご縁あってこそKOAの経営が成り立つことを忘れずに、またその人類を生かしてくれている地球との調和を念頭にこれからも企業経営を進めてまいります。

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第92期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）中間事業報告書をお届けするにあたり、ごあいさつを申し上げます。

KOAは、株主の皆様をはじめとする5つの主体との信頼関係構築を企業ミッションとしています。そのうちの1つが「地球」であり、この星が育む生命・物質・エネルギーは有限であるとの認識のもと、地球にとってのムダを最小限に抑えた環境型の活動に30年ほど前から取り組んできました。

近年頻発する異常気象も地球温暖化の影響であるといわれ、ようやくその対策が世界で始まっています。2015年にパリで開催されたCOP21（国連気候変動枠組条約第21回締約国会議）では、世界の平均気温上昇を産業革命前と比較して2℃未満に抑えるという長期目標が定められました。しかしながら、これまでに各国が提出した2020年以降の排出削減目標をすべて積み上げても、2℃目標を実現できる温室効果ガスの削減量が遠く及ばないことが明らかになっており、排出削減目標の更なる強化が必要となっています。

国際エネルギー機関（IEA）のデータによると、世界の部門別CO<sub>2</sub>排出量のうち、発電部門約40%に次いで、運輸部門は約25%。その運輸部門の排出量の約90%を占める自動車からのCO<sub>2</sub>排出削減は、目標達成に欠かせません。排出ガス規制の厳格化が進む欧州を筆頭に、近年では新興国も追従する形で規制強化が進んでいます。

## コア KOA株式会社

代表取締役社長

花形 忠男



排出ガス規制が各国で強化されれば、自動車市場の様相は大きく変わるでしょう。燃料電池車、電気自動車、プラグインハイブリッド車、ハイブリッド車といった環境対応車は、ワールドワイドの販売予測で2025年に約35%、2030年には約50%、そして2040年に約80%まで増加するとIEAは試算しています。

KOAにとって自動車市場は、売上高の約40%を占める重要市場です。現行のハイブリッド車でも、エンジン車に比べ格段に多い抵抗器が使用されています。環境対応車が今後増えるにつれ、自動車向け厚膜チップ抵抗器の需要も大幅に拡大し、2030年度には2018年度比で2倍以上になると当社は予測しています。これは我々にとって大きなチャンスです。

KOAは研究開発型企業を目指し、未来へ向け新たな価値をお客様と共創する活動を継続してきました。今後も、未来のイノベーションで生まれるチャンスを確実に捉えていきます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

## 営業の概況

### 損益に関する状況

当第2四半期連結累計期間（平成31年4月1日～令和元年9月30日）の世界経済は、米国では雇用情勢の改善などを背景に個人消費が堅調に推移しましたが、設備投資を中心とした企業部門の悪化等により景気は減速傾向となりました。アジアでは中国において、インフラ投資は堅調ながら、米中貿易摩擦の影響による個人消費の悪化や企業が設備投資を控えたこと等により景気の減速が継続しました。また、欧州でも製造業を中心とした企業業績の悪化等により減速傾向となるなど、全体として景気の回復力が鈍化しました。我が国経済では雇用情勢の改善や消費税増税前の駆け込みにより個人消費が緩やかに回復しましたが、世界景気の回復力が弱まっていることから輸出・生産が弱含んでおり、全体として景気は横ばいで推移しました。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、中長期的には電子化の進行により自動車関連市場が引き続き拡大するものの、当期においては世界景気の減速やお客様の在庫調整の影響を受け自動車向け等は弱含みで推移しました。

このような環境のもと、当社グループは品質・信頼性を重視する市場を中心に、高付加価値製品の拡販等の活動を進めるとともに、将来に向けた研究開発投資を増加させてまいりました。

販売面におきましては、主に中国の電源や自動車向けの売上が減少したこと等により当第2四半期連結累計期間の売上高は251億76百万円（前年同期比29億4百万円減、10.3%減）となりました。

利益面におきましては、引き続きコストダウンに努めましたが、売上高の減少等により営業利益は10億6百万円（前年同期比16億2百万円減、61.4%減）、経常利益は為替差損の増加等により10億97百万円（前年同期比20億67百万円減、65.3%減）、また、紛争和解金3億71百万円を特別損失に計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億67百万円（前年同期比2億26百万円減、25.3%減）となりました。

### 資産に関する状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は742億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ、31億5百万円減少いたしました。主な要因としましては、受取手形及び売掛金等の減少によるものであります。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ23億33百万円減少いたしました。主な要因としましては、未払金等の減少によるものであります。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の77.4%から79.6%となりました。

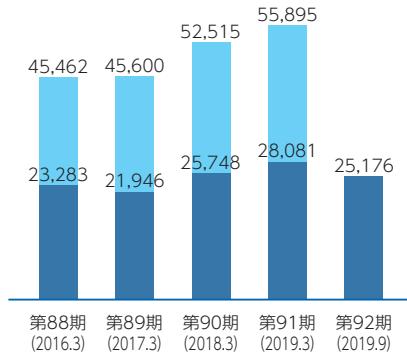
キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フロー19億2百万円、投資活動によるキャッシュ・フロー△18億23百万円、財務活動によるキャッシュ・フロー△3億54百万円となり、現金及び現金同等物の期末残高は134億89百万円となりました。

## 連結業績の推移

### 売上高

(百万円)

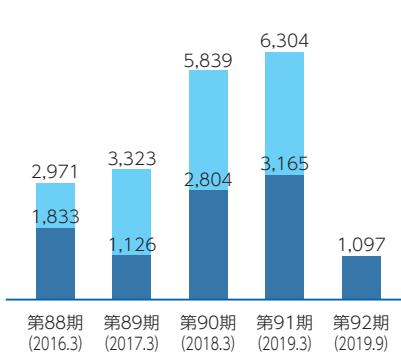
■ 中間期 ■ 通期



### 経常利益

(百万円)

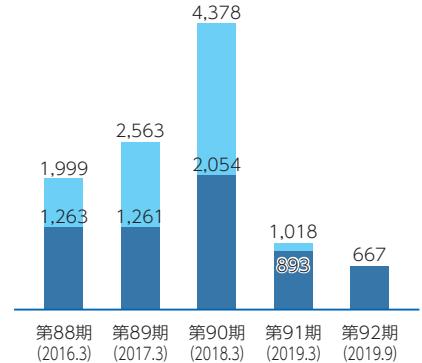
■ 中間期 ■ 通期



### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(百万円)

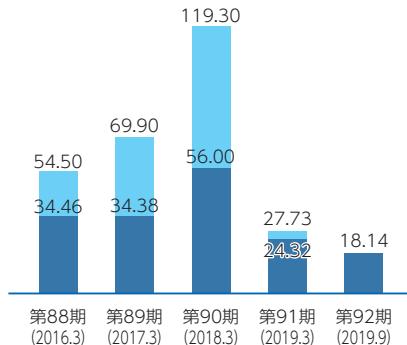
■ 中間期 ■ 通期



### 1株当たり四半期(当期)純利益

(円)

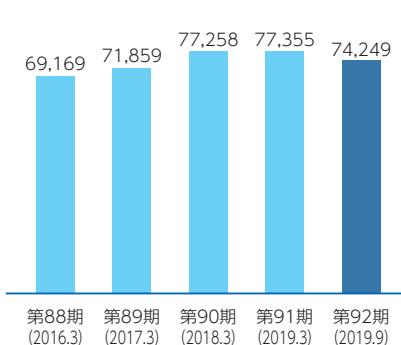
■ 中間期 ■ 通期



### 総資産

(百万円)

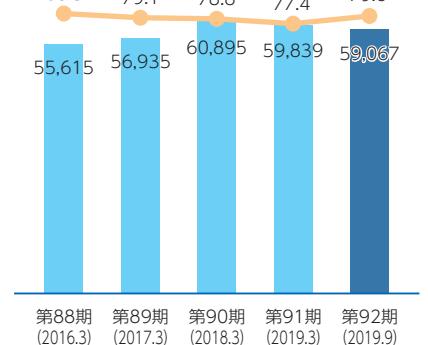
■ 中間期 ■ 通期



### 純資産/自己資本比率

(百万円)

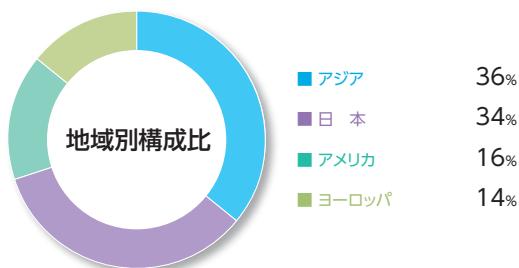
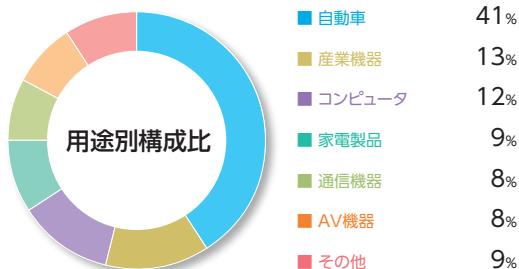
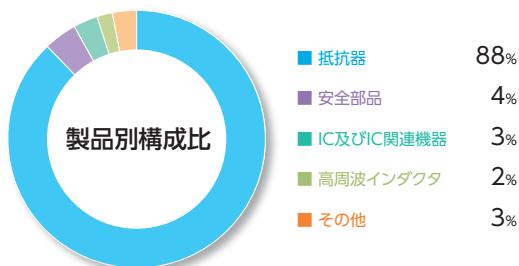
■ 中間期 ■ 通期



※「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を前連結会計年度から適用しており、第90期の数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値を記載しております。

## 連結決算の概要

## 売上高構成比



## 四半期連結損益計算書 (要約)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
	自: 2019年4月1日 至: 2019年9月30日	自: 2018年4月1日 至: 2018年9月30日
<b>売上高</b>	<b>25,176</b>	<b>28,081</b>
売上原価	18,263	19,229
<b>売上総利益</b>	<b>6,913</b>	<b>8,851</b>
販売費及び一般管理費	5,906	6,242
<b>営業利益</b>	<b>1,006</b>	<b>2,609</b>
営業外収益	337	655
営業外費用	247	99
<b>経常利益</b>	<b>1,097</b>	<b>3,165</b>
特別利益	114	0
特別損失	399	2,059
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>812</b>	<b>1,106</b>
<b>法人税等</b>	<b>145</b>	<b>212</b>
<b>四半期純利益</b>	<b>667</b>	<b>893</b>
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>667</b>	<b>893</b>

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
	自: 2019年4月1日 至: 2019年9月30日	自: 2018年4月1日 至: 2018年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,902	3,159
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,823	△ 2,796
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 354	△ 673
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 229	79
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 504	△ 231
現金及び現金同等物の期首残高	13,993	17,474
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	44
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,489	17,287

## 四半期連結貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 連結会計期間 2019年9月30日現在	前連結会計年度 2019年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>36,420</b>	<b>39,445</b>
現金及び預金	14,697	15,197
受取手形及び売掛金	11,541	13,616
有価証券	100	200
たな卸資産	7,653	7,622
その他	2,428	2,809
<b>固定資産</b>	<b>37,829</b>	<b>37,910</b>
有形固定資産	29,381	28,301
無形固定資産	599	556
投資その他の資産	7,848	9,052
<b>資産合計</b>	<b>74,249</b>	<b>77,355</b>
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>	<b>10,717</b>	<b>13,582</b>
支払手形及び買掛金	4,194	4,839
短期借入金	215	221
その他	6,307	8,522
<b>固定負債</b>	<b>4,463</b>	<b>3,933</b>
退職給付に係る負債	2,033	2,117
その他	2,430	1,815
<b>負債合計</b>	<b>15,181</b>	<b>17,515</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>	<b>59,260</b>	<b>59,219</b>
資本金	6,033	6,033
資本剰余金	9,195	9,195
利益剰余金	46,706	46,706
自己株式	△ 2,674	△ 2,715
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△ 192</b>	<b>620</b>
その他有価証券評価差額金	1,527	1,803
為替換算調整勘定	△ 1,399	△ 846
退職給付に係る調整累計額	△ 320	△ 336
<b>純資産合計</b>	<b>59,067</b>	<b>59,839</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>74,249</b>	<b>77,355</b>

KOAのホームページを  
ぜひご覧ください。

[www.koaglobal.com](http://www.koaglobal.com)



- 製品情報
- アプリケーションガイド
- KOAの技術
- 企業情報
- 株主・投資家情報
- 採用情報
- お問い合わせ

「株主・投資家情報」では詳しい  
財務情報をご覧ください。



- IRニュース
- KOAからのメッセージ
- 企業価値ダイアログ
- 財務・業績情報
- IRライブラリー
- 株式について
- 個人投資家の皆様へ
- IRカレンダー
- FAQ
- IRお問い合わせ

KOA IR

検索



# CEATEC 2019に出展しました

2019/10/15～18 幕張メッセ



## 連続20回出展者表彰

CEATEC（シーテック）は、家電見本市であったエレクトロニクスショーと通信関連のCOM JAPANを統合し、2000年に総合見本市としてスタートしました。当時は液晶テレビなどの家電製品、パソコンや携帯電話などの展示が中心でしたが、主役が徐々に情報通信関連へ移り、20年の時を経た現在はIoT/CPS/Society5.0を異業種連携で実現する専門展示会に様変わりしています。KOAの出展も既存品や新製品が中心でしたが、最近ではKOAの基盤技術を応用したセンサやセンサモジュールの出展が増えてきています。

CEATECは今年、20回目の節目を迎えました。記念式典では、KOAを含む19の企業・団体が20回連続出展の表彰を受けました。市場環境の変化が激しい昨今、今回表彰された企業のうち、電子部品メーカーが14社と多く、これも日本の電子部品が高い国際競争力を維持していることを物語っているといえます。



CEATEC実施協議会の遠藤会長から表彰される小嶋取締役（右）

## CEATECでの主な展示品目 ～自動車向け製品～

自動車分野では、CASE\*という大きな変革期を迎えています。自動車はこれまでの「走る・曲がる・止まる」から、インターネットを介して様々なサービスと「つながる」ことにより、安全性・快適性・娯楽性・環境性を向上させることが可能となってきます。また、CASEが本格的に普及すると自動車のみならず、暮らしのあらゆる場面で相互に連携したこれまでにない多様なサービスが生まれてきます。

また、地球温暖化の原因といわれるCO<sub>2</sub>削減のため、各国では排出ガス規制が強化されており、この規制をクリアするためにハイブリッド車や電気自動車などの環境対応車の販売台数が大きく増えていくと予測されます。

今回KOAブースでは自動車向け製品のラインアップとして、環境対応車のどの部分にKOA製品を使っていたかを示すパネルをはじめ、新製品や開発中の製品を展示し、今後大きな需要が期待できる自動車市場へアピールしました。

また、自動車向け以外にもIoTに向けたセンサを展示し、お客様との共創による新たなビジネスに向けて多くの商談の機会を得ることができました。IoTが本格的に普及しつつある中で、KOA製品が採用される機会がさらに多くなっていくと感ぜられる展示会でした。



\*CASE : Connected(つながる), Autonomous(自動運転), Shared & services(シェア&サービス), Electric(電動化)

## 第18回諏訪圏工業メッセに初出展しました

CEATECと同時期に長野県諏訪市で開催された第18回諏訪圏工業メッセ(2019/10/17~19)に初めて出展しました。諏訪圏工業メッセは年々知名度が向上し、諏訪地域や長野県内のみならず関東や中京圏からの出展者や来場者も増えており、地方では国内最大級の工業専門展示会に成長してきました。本展示会は「価値ある技術の進化でグローバルに発信」をテーマに掲げ、精密・微細加工を応用した医療・環境エネルギー・航空宇宙産業などで、異業種連携の目覚ましい実績を上げています。出展企業は過去最高の425社を数え、KOAを含む新規出展企業も50社を超えています。

諏訪圏工業メッセはCEATECとは出展企業の業態が異なるため、これまで取引の無かった企業の方々の来場も多く、KOAの製品や基盤技術、様々な取組みを知ってもらうことにより、新たな連携を期待させる良い機会となりました。



## 「おてんとうさま」活動

### 環境 マネジメント システム

KOAグループでは、KOAを支えてくださっている「5つの主体」（株主様、お客様・お取引先様、地域社会、社員・家族、地球）との信頼関係の構築を企業の使命と考え、地球との調和を図る「おてんとうさま」活動を展開しています。

「おてんとうさま」は、「お天道様に堂々と胸を張って報告できる活動をしよう」という思いを込めて、ISO14001環境マネジメントシステムにつけた愛称です。

#### おてんとうさま活動長期目標 「2020社会環境目標」

KOAグループでは、2016年度から「2020社会環境目標」5か年計画をスタートしました。

持続可能な社会への貢献を目指し、2030年までの長期視点で3つの主要課題を捉え、活動しています。

##### 持続可能な社会への3つの主要課題

###### 課題1

事業の拡大や変化に伴う  
環境負荷の増大を抑制する

###### 課題2

持続可能な社会に向けた  
ものづくりを追求する

###### 課題3

時代の変化に対応した製品・  
活動・サービスを追求する

#### 環境負荷の少ないものづくりへの挑戦

##### ●キシレン不使用への取り組み

グループ会社の興亜エレクトロニクス株式会社 やすおか 泰阜工場では、大電流が流れる回路に搭載されるセメント抵抗器を製造しています。この抵抗器の材料には、工業原料として一般的に用いられるキシレンが含まれています。キシレンには有害性があるため、

環境への放出量の管理が法的に求められるPRTR対象物質<sup>\*1</sup>に指定されています。そこで、環境にやさしいものづくりを目指し、キシレンを使用しない製造方法を開発しました。

これにより、キシレンの使用量がゼロになっただけでなく、熱処理温度の低温化・乾燥時間の短縮が可能となり、約47%の電力使用量削減にもつながりました。これからも安心・安全かつ、より環境負荷の少ないものづくりに挑戦してまいります。

<sup>\*1</sup> Pollutant Release and Transfer Register（化学物質排出移動量登録）の略。  
人の健康や環境に有害性のある対象物質の排出量を使用事業者が届け出る法制度。使用量や排出量の削減といった自主的な取り組みも求められる。



# 会社概要・株式の状況 (2019年9月30日現在)

## 会社概要

<b>社名</b>	コープ KOA株式会社 (KOA CORPORATION)
<b>所在地</b>	本社 〒399-4697 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016番地 KOAパインパーク内アースウイング TEL：0265-70-7171（代表） （登記上の本店）
<b>創立</b>	長野県伊那市荒井3672番地 1940年3月10日（昭和15年）
<b>資本金</b>	6,033百万円
<b>事業内容</b>	各種電子部品の開発・製造・販売

## 取締役及び監査役

取締役会長	向山 孝一
代表取締役社長	花形 忠男
常務取締役	野々村 昭
取締役	百瀬 克彦
取締役	山岡 悦二
取締役	小嶋 敏博
※ 取締役	マイケル・ジョン・コーバー
※ 取締役	北川 徹
常勤監査役	五味 正志
常勤監査役	矢島 豪
※ 監査役	上拾石 哲郎
※ 監査役	飯沼 好子

(注) ※印の取締役及び監査役は社外役員であります。

## 株式の状況

<b>発行可能株式総数</b>	150,000,000 株
<b>発行済株式の総数</b>	40,479,724 株
<b>株主総数</b>	7,103 名

## 上場証券取引所

東京証券取引所 市場第一部  
名古屋証券取引所 市場第一部

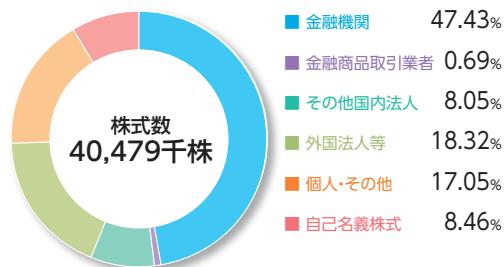
## 大株主の状況

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,032,000	8.18
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,376,800	6.41
日本生命保険相互会社	2,226,650	6.01
野村信託銀行株式会社(投信口)	1,928,800	5.20
株式会社八十二銀行	1,832,400	4.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,449,600	3.91
株式会社三菱UFJ銀行	1,000,000	2.70
日本電気株式会社	868,333	2.34
GOVERNMENT OF NORWAY	727,132	1.96
KOA共栄会	717,430	1.93

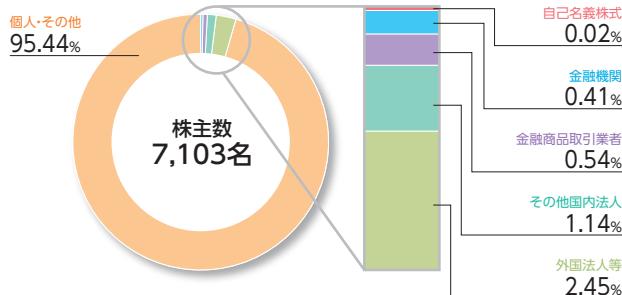
(注) 1. 当社は、自己株式3,425,805株を保有しておりますが、上記には記載しておりません。  
なお、自己株式には、従業員持株ESOP信託が保有する当社株式241,500株を含んでおりません。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 株式の分布状況

### 【所有者別持株比率】



### 【所有者別株主比率】



## 本社・技術拠点

**本社** 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016  
KOAパインパーク内アースウイング  
〒399-4697 ☎ 0265 (70) 7171  
FAX 0265 (70) 7711

## 経営管理イニシアティブ

経営戦略センター ☎ 0265 (70) 7173  
FAX 0265 (70) 7992

総務センター ☎ 0265 (70) 7171  
FAX 0265 (70) 7711

人事教育センター ☎ 0265 (70) 7177  
FAX 0265 (70) 7711

知的財産センター ☎ 0265 (70) 7179  
FAX 0265 (70) 7712

情報システムセンター ☎ 0265 (70) 7275  
FAX 0265 (70) 7276

CSR推進センター ☎ 0265 (70) 7065  
FAX 0265 (70) 7994

## 技術イニシアティブ

☎ 0265 (70) 7175  
FAX 0265 (70) 7712

**伊那事業所** 長野県伊那市荒井3672  
〒396-8585 ☎ 0265 (78) 6622  
FAX 0265 (78) 5266

**West Wing** 長野県上伊那郡南箕輪村北原1634-17  
West Wing 〒399-4511

**品質保証イニシアティブ** ☎ 0265 (73) 9156  
FAX 0265 (78) 2128

**ハローウイング** 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016  
KOAパインパーク内 〒399-4697

**ものづくりイニシアティブ**  
生産戦略センター ☎ 0265 (79) 1481  
FAX 0265 (79) 1409

**北九州研究所** 北九州市若松区ひびきの2-1  
北九州学術研究都市  
産学連携センター408号室  
〒808-0135 ☎ 093 (883) 8226  
FAX 093 (883) 8251

## 営業拠点

**東洋ビジネスフィールド** 横浜市港北区新横浜2-13-13  
TPR新横浜ビル2F  
〒222-0033 ☎ 045 (476) 1800  
FAX 045 (476) 1809

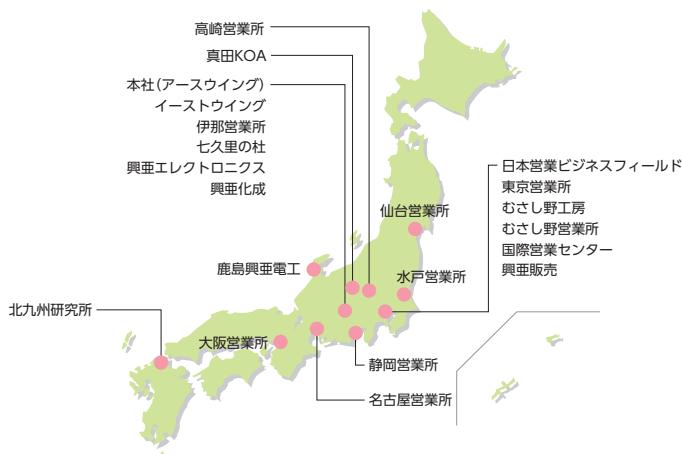
**営業支援センター** ☎ 045 (476) 1800  
FAX 045 (476) 1809

**物流センター** 長野県上伊那郡南箕輪村北原1634-17  
South Wing 〒399-4511 ☎ 0265 (76) 9110  
FAX 0265 (76) 9138

**むさし野工房** 東京都府中市緑町2-17-2  
〒183-0006 ☎ 042 (336) 5300  
FAX 042 (336) 5353

**販売イニシアティブ** ☎ 042 (336) 5300  
FAX 042 (336) 5353

**国際営業センター** ☎ 042 (336) 5755  
FAX 042 (336) 5353



## (各営業所)

**仙台営業所** 仙台市宮城野区榴岡2-4-22仙台東口ビル8F  
〒983-0852 ☎ 022 (292) 3303  
FAX 022 (292) 6606

**水戸営業所** 茨城県ひたちなか市足崎字西原1445-31  
〒312-0003 ☎ 029 (273) 4651  
FAX 029 (274) 8824

**高崎営業所** 群馬県高崎市和田町2-3東邦ビル4F 401号室  
〒370-0847 ☎ 027 (320) 8760  
FAX 027 (320) 8766

**むさし野営業所** 東京都府中市緑町2-17-2  
〒183-0006 ☎ 042 (336) 5757  
FAX 042 (336) 5353

**東京営業所** 横浜市港北区新横浜2-13-13TPR新横浜ビル2F  
〒222-0033 ☎ 045 (476) 1820  
FAX 045 (476) 1814

**伊那営業所** 長野県伊那市荒井3672  
〒396-8585 ☎ 0265 (78) 6622  
FAX 0265 (78) 5266

**静岡営業所** 静岡県駿河区馬淵3-2-25 TKビル5F  
〒422-8063 ☎ 054 (282) 5166  
FAX 054 (282) 5466

**名古屋営業所** 名古屋市長栄区社台3-230グランドビル4F  
〒465-0092 ☎ 052 (774) 2821  
FAX 052 (774) 2891

**大阪営業所** 大阪市淀川区西中島7-1-5辰野新大阪ビル6F  
〒532-0011 ☎ 06 (6885) 0822  
FAX 06 (6885) 6388

**西山工場** 長野県伊那市西箕輪2445  
〒399-4501 ☎ 0265 (73) 7166  
FAX 0265 (73) 6112

**MINOWAウイング** 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016  
KOAパインパーク内  
〒399-4697 ☎ 0265 (79) 8471  
FAX 0265 (79) 7079

**中央工場** 長野県上伊那郡南箕輪村5061  
〒399-4511 ☎ 0265 (77) 3513  
FAX 0265 (72) 4397

**七久里の社** 長野県下伊那郡阿智村春日1088-1  
〒395-0301 ☎ 0265 (45) 1711  
FAX 0265 (45) 1717

**匠の里** 長野県飯田市桐林2441-1  
〒399-2565 ☎ 0265 (26) 7701  
FAX 0265 (26) 7732

## 国内グループ会社

## 興亜エレクトロニクス株式会社

長野県下伊那郡阿南町西条733 〒399-1504  
☎ 0260 (22) 2261 FAX 0260 (22) 3356

## 興亜販売株式会社

東京都千代田区神田須田1-7-9VORT秋葉原Maxim3F 〒101-0041  
☎ 03 (3255) 5521 FAX 03 (3251) 7648

## 真田KOA株式会社

長野県上田市真田町長5688-6 〒386-2201  
☎ 0268 (72) 3770 FAX 0268 (72) 8231

## 鹿島興亜電工株式会社

石川県鹿島郡中能登町武部は部11 〒929-1802  
☎ 0767 (76) 1111 FAX 0767 (76) 0500

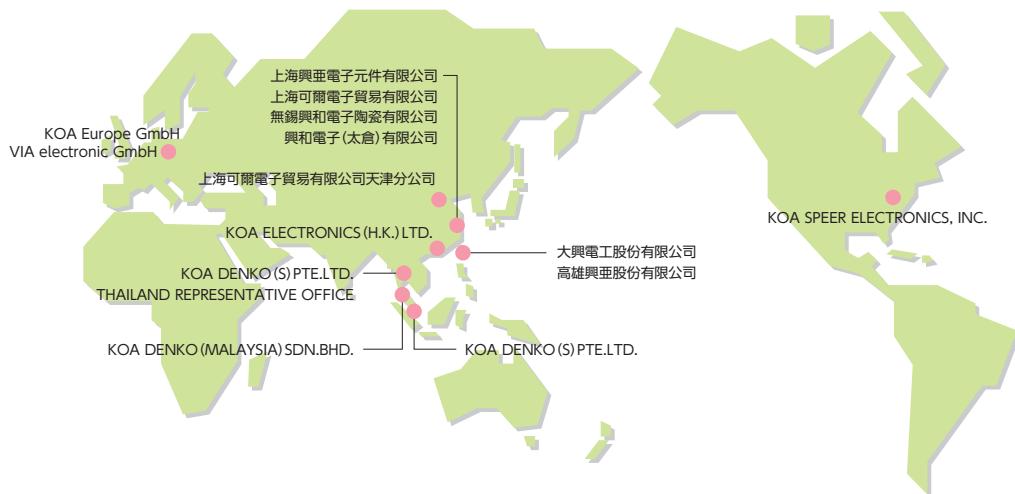
## 興亜化成株式会社

長野県伊那市御園180-2 〒396-0022  
☎ 0265 (72) 7264 FAX 0265 (76) 0006

## 生産拠点

**イーストウイング** 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016  
KOAパインパーク内  
〒399-4697 ☎ 0265 (79) 9080  
FAX 0265 (79) 9079

**箕輪工場** 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪8633  
〒399-4601 ☎ 0265 (70) 5390  
FAX 0265 (79) 8980



## 海外の拠点

### アメリカ/KOA SPEER ELECTRONICS, INC.

199 BOLIVAR DRIVE BRADFORD PA  
16701 USA

☎ (1) 814-362-5536

FAX (1) 814-362-8883

### ドイツ/KOA Europe GmbH

KADDENBUSCH 6  
D-25578 DÄGELING ITZEHOE GERMANY

☎ (49) 4821-89890

FAX (49) 4821-898989

### ドイツ/VIA electronic GmbH

ROBERT-FRIESE-STRASSE 3, D-07629 HERMSDORF, GERMANY

☎ (49) 036601-9298-0

FAX (49) 036601-9298-110

### マレーシア/KOA DENKO(MALAYSIA)SDN.BHD.

LOT 7,8&9 BATU BERENDAM, FTZ  
75350 MELAKA, MALAYSIA

☎ (60) 6-2328031

FAX (60) 6-2313171

### シンガポール/KOA DENKO(S)PTE.LTD.

72 BENDEMEER ROAD #06-28  
LUZERNE SINGAPORE 339941

☎ (65) 63395151

FAX (65) 63398556

### タイ/KOA DENKO(S)PTE.LTD.

#### THAILAND REPRESENTATIVE OFFICE

38 CHALANTTIP BUILDING, 7TH FLOOR  
UNIT 7CD, CONVENT RD.,SILOM, BANGRAK,  
BANGKOK 10500 THAILAND

☎ (66) 2632-0382

FAX (66) 2632-0903

### 中国/上海興亞電子元件有限公司

中国上海市漕河泾新興技術開發区桂平路581号

☎ (86) 21-64850723

FAX (86) 21-64852960

### 中国/上海可爾電子貿易有限公司

中国上海市漕河泾新興技術開發区桂平路581号

☎ (86) 21-64320101

FAX (86) 21-64320083

### 中国/上海可爾電子貿易有限公司天津分公司

中国天津市和平区南京路219号天津中心8楼823室

☎ (86) 21-64320101

FAX (86) 21-64320083

### 中国/無錫興和電子陶瓷有限公司

中国江蘇省宜興市和橋鎮西鋤村向山路1号

☎ (86) 510-87871645

FAX (86) 510-87871626

### 中国/興和電子(太倉)有限公司

中国江蘇省太倉市太倉經濟開發区洛陽東路77号

☎ (86) 512-53561111

FAX (86) 512-53561600

### 香港/KOA ELECTRONICS(H.K.)LTD.

UNIT 2315, METROPOLIS TOWER, 10  
METROPOLIS DRIVE HUNGHOM,  
KOWLOON, HONG KONG

☎ (852) 2492-6918

FAX (852) 2492-7398

### 台湾/大興電工股份有限公司

中華民國台北市南京東路1段34号平安大樓11樓

☎ (886) 2-25214166

FAX (886) 2-25641859

### 台湾/高雄興亞股份有限公司

中華民國高雄市楠梓加工出口区開發路17之2号

☎ (886) 7-363-4157

FAX (886) 7-363-4543

## 対話を深めていくために

### 株主懇談会を開催しました

第91回定時株主総会（2019年6月15日開催）に併せて、株主の皆様とKOAの企業価値について意見交換をする「株主懇談会」を実施いたしました。懇談会は2部構成で、第1部では「ご報告会」と題し、1987年に始まったKPS（コアプロフィットシステム）活動を通じカタチづくられてきた企業価値について、令和への改元を節目として平成の30年間を振り返る中で紹介させていただきました。当日のプレゼンテーション動画は、KOAホームページに掲載しておりますので、ぜひ一度ご視聴いただければ幸いです。

<https://www.koaglobal.com/ir/surveyinfo>

第2部では、株主の皆様と役員との懇談が行われ、和やかな雰囲気の中で意見が交わされました。会場には、5つの主体を表す5色のタペストリーを設置。それぞれの主体に対するKOAの取り組みの一例を展示しました。また、昨年の株主総会において株主様からご要望のあった製品展示を行い、普段なかなか目にする機会のないKOA製品に触れることで、より理解を深めていただくことができました。



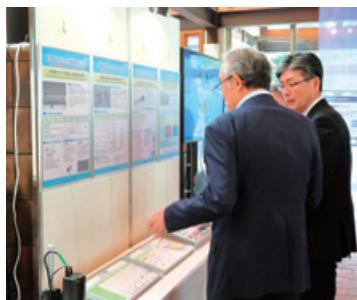
株主懇談会第1部 ご報告会



第1部 ご報告会  
プレゼンテーション動画



タペストリーや各種展示を工夫した懇談会会場



製品の説明をする山岡取締役（右）



様々な取り組みを資料にて紹介

## 年間IRカレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
決算発表	● 期末決算			● 第1四半期決算			● 第2四半期決算			● 第3四半期決算		
IR説明会	● 期末決算説明会						● 第2四半期決算説明会					
株主総会	● 招集ご通知発送 ● 定時株主総会 ● 決議ご通知発送											
株主通信 IRサイト				● 株主通信発送 ● IRサイト更新			● 中間株主通信発送 ● IRサイト更新					
有価証券報告書				● 有価証券報告書		● 四半期報告書 (第1四半期)	● 四半期報告書 (第2四半期)				● 四半期報告書 (第3四半期)	

## IRのお問い合わせ先はこちらです

電話：0265-70-7171 FAX：0265-70-7711

KOA株式会社 経営管理イニシアティブ総務センター

ホームページ内「お問い合わせ」

<https://www.koaglobal.com/contact/othersForm>

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL <a href="https://www.koaglobal.com">https://www.koaglobal.com</a> ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

### (ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行で承りますので、左記までお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



### 表紙の絵

山懐が深い赤石山脈では、アルプスと分厚い前山がつくる表情が豊かです。朝なら曙、つとめて、朝ぼらけ、夕なら黄昏、夕さり、夕まぐれと時間が山壁の色調を操り、晩秋から初冬にかけては季節の装いがグラデーションとなり目の前に迫ります。



絵：今村由男  
長野県生まれ。  
日本版画協会会員

